

# 民生福祉常任委員会記録

令和4年9月8日

【開催日】 令和4年9月8日（木）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前9時～午前10時5分

【出席委員】

委員長	松尾数則	副委員長	白井健一郎
委員	大井淳一朗	委員	奥良秀
委員	山田伸幸	委員	吉永美子

【欠席委員】

委員	福田勝政		
----	------	--	--

【委員外出席議員等】

紹介議員	長谷川知司	紹介議員	藤岡修美
紹介議員	宮本政志		

【参考人出席者】

参考人	吉村美栄		
-----	------	--	--

【事務局出席者】

事務局長	河口修司	庶務調査係書記	岡田靖仁
------	------	---------	------

【審査内容】

- 1 請願第4号 飼い主のいない猫の不妊、去勢手術費に対する支援補助金の創設を求める請願書について

---

午前9時 開会

---

松尾数則委員長 おはようございます。ただいまから民生福祉常任委員会を開会いたします。本日、福田委員は疾病のために欠席すると報告を受けております。ただいまから、請願第4号飼い主のいない猫の不妊、去勢手術費に対する支援補助金の創設を求める請願書について審査します。参考人として、紹介議員である長谷川知司議員、藤岡修美議員、宮本政志議員、そして、請願者である吉村美栄様の御出席を得ております。なお、

もう1人の請願者である吉田裕美子様は、本日欠席される旨の連絡を頂いております。委員会を代表しまして、参考人の皆様に一言御挨拶を申し上げます。本日はお忙しい中にもかかわらず、本委員会に御出席いただきありがとうございます。委員会を代表して心から厚くお礼を申し上げますとともに、本日は忌たんのない御意見を述べてくださいますよう、お願いいたします。本日の議事について申し上げます。まず、請願者から御説明いただき、その後、委員から質疑を行います。御説明や発言の際に御注意いただきたい事項をお伝えします。参考人におかれましては、委員長の許可を得てから発言してください。発言の内容は、問題の範囲を超えないようにお願いします。なお、参考人は、委員に対して質疑することができませんので、御了承ください。委員会の内容は、インターネットで放送されておりますので、個人情報についての発言は控えてください。まず、参考人から説明を求めます。よろしく申し上げます。

吉村美栄参考人 皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、お時間を頂きありがとうございます。山陽小野田市地域猫ボランティア団体スマイルC a t s 代表の吉村美栄と申します。よろしくお願いいたします。この度、飼い主のいない猫の不妊、去勢手術への支援補助金の創設を求める請願書を御提出しました。こちらは、皆様、御一読いただいているということなので、説明に入らせていただきます。私は、小野田駅近くに住んでおります。飲食店や御近所の方が野良猫に餌を与えるため、自宅の庭にはたくさんの猫が行き来し、いつも被害に悩まされておりました。猫は、年々増え続け、玄関先プランターへの糞尿被害、朝方に鳴くので睡眠障害などストレスも限界になっていき、宇部市のボランティア団体に相談したところ、「自分で動くしかない。自分で避妊、去勢手術して、猫たちの繁殖被害を止めるしか方法はない」と勧められたことが、私が地域猫活動をスタートした理由です。お手元に資料を用意しておりますので御覧ください。まず、飼い主のいない猫をかわいそうに思って餌を与える人がいる一方、糞尿被害や鳴き声など地域住民への苦情やトラブルなどが多く寄せられています。地域猫活動とは、猫に迷惑している人と

猫を助けたい人の双方から話を聞き、地域住民、ボランティア、行政が協力して問題解決を図るという活動です。飼い主のいない猫の問題は、環境問題であり、人と人との問題でもあると思います。無責任に餌を与え続けると、糞尿被害があるだけでなく、たくさんの子猫が生まれ、住民のストレスやトラブルはますます増え続けていくことになります。資料の図を見ても分かりますように、猫の繁殖力は、皆様が思われているより非常に強くて、妊娠率は100%とされています。しかも、妊娠期間は2か月ほどで、生まれた子猫の授乳期が終わると、再び妊娠することになり、1年で最大4回妊娠と出産を繰り返すこともできます。また、子猫は、生後6か月から9か月ほどで妊娠できるまで成長します。この子たちも1年に何回も出産を繰り返し、一度に4匹から8匹の子猫を生むと言われているため、3年後には、1匹の雌から2,000匹まで増える可能性があると言っています。「近所で数匹の猫に餌をあげているだけ。猫は、そのうちどこかに行くだろう」という考え方は通用しないと思います。そして、どこかに行ったその猫は、別の場所で繁殖し、その場所で近所の方に迷惑を掛けることとなります。現在、スマイルCatsのメンバーは12人おり、それぞれの地区で猫が増えたことによる住民トラブルなどが起きていると相談を受けています。資料に書いている地区で、分かっているだけでも150匹以上の猫がいて、避妊、去勢手術をしなければいけないと思っています。次のページに入ります。現在、避妊、去勢手術に掛かる費用は、各ボランティアが自己負担しているため、全員がこの活動に掛かる出費の限界に直面しています。しかし、外で生活する猫に手術をせずに放置すれば、猫は増え続けるばかりです。全国的に「殺処分ゼロ」を目指していることから、動物愛護センターは、以前のような安易な猫の引取りをしておりません。子猫は成猫となり、出産を繰り返すという状況を改善するためには、猫の避妊、去勢手術は必ず行わなければならない活動だと思っています。手術したら不幸な子猫が生まれません。また、尿の臭いが薄くなり、スプレー行動も減ります。そして、発情期の嫌な鳴き声やけんかの声も減少し、行動範囲も狭くなるため、地域猫として管理しやすくなります。野良猫の

命は、3年から5年と言われております。とても短い命ですので、一代限りの命を全うし、3年から5年の寿命を終えた後、猫の数はどんどん減っていき、いろいろな被害の問題も減少し、環境が改善し、住民の安心な生活が守れることになると期待しております。野良猫が減ることで、道路上で起こる動物の死亡事故も減り、行政職員のつらい仕事も減らすことができます。環境省から発表されているように、全ての猫を屋内飼育することを徹底して、外にいる飼い主のいない猫の避妊去勢手術を推進していくことが早急に求められます。現在、山陽小野田市では団体がありませんので、この問題を全て宇部市や下関市の猫ボランティア団体に相談して、助けてもらっている状態です。避妊、去勢手術の補助金制度が創設されると、地域猫活動にも関心が高まり、住民も積極的にこの活動に取り組めるのではないかと考えております。最後のページに近隣市の助成金制度をまとめております。宇部市は、年間予算400万円で、団体への補助金も20万円を上限として設けられており、これは子猫を譲渡する際のワクチンや医療費などを補填するものだと聞いております。また、飼い主のいない猫への手術代として、雄は5,000円、雌は1万円が補助されます。下関市は、年間予算180万円で、飼い猫に対する補助金もあり、雄は3,000円、雌は5,000円が補助されます。飼い主のいない猫に対しては雄5,000円、雌が7,000円です。自治体が行う地域猫活動に対しては、雄が6,000円、雌が1万円です。防府市は、年間予算200万円で、個人の飼い猫に3,000円です。また、ボランティア団体のみに支援ということで1万5,000円の補助金が出ています。山口市は、年間予算120万円で、個人に対して雄は5,000円、雌は1万円。登録団体に対して、雄は5,000円、雌は1万円です。自治会への補助は厚く、雄は1万円、雌は2万円となっております。猫の数が少ないうちに避妊、去勢手術していれば、大繁殖や多頭飼育の悲劇は起きません。山陽小野田市の猫の捕獲依頼、避妊、去勢手術のための保護依頼が毎日のように宇部市の団体に寄せられていると聞いています。この度、この状況を心配して、宇部市の獣医をはじめ、ボランティア団体である猫吉、猫丸、福猫の皆様の御協力を

得て、山陽小野田市で一斉去勢を執り行うことも決まっております。一斉去勢とは、獣医の先生方にお集まりいただき、ボランティアのメンバー20人ほどで、1日に約30匹程度の猫の去勢を行うものです。私たちボランティアが一人一匹ずつ連れて行くのでは、とても間に合わないということで、他市の獣医の先生方から御協力いただきました。補助金制度がない中での手術になりますので、予算をどこから捻出するのか、スマイルCatsが負担するのかなどは検討中です。これは、山陽小野田市の地域猫活動にとって、とても大切なことだと思っておりますので、実行していきたいと思っております。この問題を先延ばしすることなく、2023年度の補助金制度創設という形で、是非、皆様に後押ししていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。以上です。

松尾数則委員長 請願者からの説明が終わりました。紹介議員から付け加えることはありますか。

長谷川知司紹介議員 字句の訂正があります。請願の趣旨の1ページの下のところの「刈谷」の字が違っておりますので、修正します。屋体の「屋」で、「刈屋」です。それと本山とは、主に本山岬だと御理解ください。また、刈屋は、刈屋の市場近くと御理解ください。

藤岡修美紹介議員 ただいま請願者から、不妊、去勢手術に掛かる費用を自治体からの補助というお話がありましたが、防府市では、ふるさと納税を利用されて、そういった活動をされている団体を補助しているそうです。ふるさと納税とは、個人の所得で差があるんですが、2,000円の個人負担で、数万円の寄附ができる制度です。この辺りも考えていただければと思います。よろしく願いいたします。

松尾数則委員長 それでは、委員から質疑を受けたいと思います。

山田伸幸委員 不妊手術に掛かる実費は、ばらつきもあると思うんですけど、

どの程度の金額になるのかを教えてください。

吉村美栄参考人 通常、動物病院では、雌が2万円から3万円、雄が1万円から2万円と設定されています。しかし、2年ほど前から宇部市の団体の方と一緒に活動を始めて、動物病院の先生の御協力を得て、不妊手術専門の病院であるスペイククリニックを創設しました。私も一緒に関わらせていただきましたが、このスペイククリニックでは、消費税抜きで雌は1万2,000円、雄は6,000円で不妊手術を行っていただくことができます。

大井淳一郎委員 現在、山陽小野田市には補助制度がありませんので、各ボランティアが自己負担されていると思うんですが、実際にどのぐらいの額を自己負担されているのですか。また、宇部市の方をお願いして、宇部市の補助金制度を利用した実績があるんでしょうか。

吉村美栄参考人 私の場合は、日の出地区に住んでおり、とにかく自分の被害を減らしたいというところからスタートしております。自治会の区長や広報役をしながら、近所を回り、気になった方に声を掛けて、不妊手術を行いました。御近所の方からも寄附を頂きましたので、今のところ、2年間で大体30万円ほどの金額を出費していると思いますが、今、子猫の姿を見ることもありませんので、とても安心して過ごすことができます。ほかの方の出費額までは把握しておりません。また、宇部市の助成金を使ったことはありません。宇部市の補助金は、宇部市の猫に対してのものなので、私たちが助けていただいているのは、スペイククリニックの予約を取っていただいたり、捕獲するための機器、山陽小野田市環境課にはこれがないので、捕獲器や子猫を保護するケージをお借りしたりしています。

大井淳一郎委員 現在、本市には補助制度がないということで、恐らく環境課に相談されたと思うんですが、そのときの環境課の対応はどのような感

じだったんでしょうか。別にクレームというわけではなく、自己負担で額も大きいので、その辺りのことを説明されて、陳情されたと思うんですが、そのときの対応について教えてください。

吉村美栄参考人 当然、環境課にも何度も足を運び、数年前からお願いしてまいりました。ある担当者からは、「餌をあげていないし、何もしてないのだから、放っておいたらどこかに行きます。放置して大丈夫です」と提案されたこともあります。しかし、猫はやってくるんです。それでは糞尿被害も減らないので、担当者に何度か御近所の飲食店の方のところに不妊、去勢手術をお願いして、一緒に訪問していただくなど、最近では御協力を得ながら一緒にやっております。しかし、助成金のことに関しては、市の予算の都合で無理だということで、なかなか話が前に進みません。そこで、議員に助けていただきたく、この場を設けていただいております。

山田伸幸委員 私の自治会でも野良猫の被害がとても深刻になっています。数名の方がボランティアを行っていますが、猫はそう簡単には捕まりません。ですから、まず餌付けして、親しくなったところで捕まえて、そのまま病院に連れていくという活動をしておられます。私はその活動をよく知っていますし、非常に敬意を払っております。自治会としても、「不用意に餌を与えないように」、「傷つけないように」と言っているんですが、どうしても限界を感じています。先ほど、「日の出の皆様の御協力」と言われましたが、これは具体的にはどういった御協力があったんでしょうか。

吉村美栄参考人 私の場合は、御近所の餌やりさん、つまり、餌をあげる人のところに、大体5匹から10匹程度の猫がいる現場が数か所ありました。その方にお話ししました。御高齢で、餌をあげるお金はあるが、不妊手術までは手が回らないということでしたので、「捕獲していただけたら、私が病院に連れて行って、後のことは行います」とお伝えし、御了承を

得て進めてまいりました。その際、御近所からたくさんのクレームが寄せられました。「猫が嫌いだ」、「猫の活動しているあなたも嫌いだ」というクレームもありましたが、猫に不妊手術をして、耳をカット、これは「さくらカット」と言うんですが、「さくらカット」した猫を見ると、猫が嫌いで苦情を寄せられていた方も、「その猫に対して優しい気持ちになれる」と「一生を頑張って生きてね」と思えるようになったと言っておられました。そして、1,000円、2,000円と寄附していただき、「これからの手術の活動にしてね」と温かいお言葉も寄せられるようになり、コミュニティーも広がったと思っております。

吉永美子委員 まず、7月に団体を立ち上げていただいたことについて、心から敬意を表します。ありがとうございます。この間、そして現在も本当に大変な思いをしておられますね。大変ありがたいのは、市内で一斉に去勢されるということで、これは具体的にいつ頃でされる予定ですか。

吉村美栄参考人 この度、山陽小野田市都市計画課の御協力を得ることができました。江汐公園、須恵健康公園、竜王山に遊びに来られた市外の方から、「猫がたくさんいて、せっかく遊びに来たのに悲しい思いをした。もう来たくない」という声がしばしば寄せられるという問題があり、これでは市のためにもならないということで、環境課と都市計画課が動いてくださり、江汐公園の管理棟講義室をお借りして、11月6日、日曜日、午前8時から午後5時まで貸し切らせていただくことに決定しております。獣医は、まだ確定ではありませんが、スペイククリニックの先生1人と麻酔等をしてくださる先生が2人、合計3人の獣医師とボランティア20人で一斉去勢を行う予定です。

吉永美子委員 11月6日午前8時から午後5時までの一日間で、約30匹を去勢するという予定ですが、どのような手順で行うのか教えていただけますか。

吉村美栄参考人 私は、宇部市において3回一斉去勢を行い、手伝いをしてまいりました。その経験から申し上げますが、まだ日にちがありますので、これから餌やりの方とお話しします。餌やりの方にお聞きすると、そこにいる猫をリサーチできます。何匹去勢しないといけないか、何時頃に餌をあげるのかなどが分かりますので、それをお聞きした上で、当日は餌をあげないでいただきます。そして、猫がいつも通る道に捕獲器を設置して、お腹が空いた猫が入るという形になります。毎回30匹程度の手術をこなしている先生方ですので、30匹を目標にしておりますが、今の山陽小野田市の状況であれば、もっとたくさんの予約が入るとお考えられます。まずは江汐公園から手がけていき、可能であれば、定期的にこの活動を行いたいと思っております。

吉永美子委員 今回、江汐公園の管理棟を借りて、餌を与える方と話をし、江汐公園の近所の猫を捕獲機で捕まえるということですか。若しくは、江汐公園の外から連れてきてもらうんですか。

吉村美栄参考人 今回は山陽小野田市の活動として捉えております。公園内にいる猫たちをメインにして、須恵健康公園についても、夜中に餌をあげに来る方がたくさんいて、こちらは餌が道路にまかれていて、とても不衛生だと聞いております。公園内の猫をメインに行いたいと思っております。

吉永美子委員 今回は江汐公園ということですね。江汐公園のところで、不妊手術をする団体までは立ち上げられていないが、個人で活動されている方もおられますね。そういう方とも連携すると、すごく喜ばれると思いますので、お願いしたいと思います。先ほどのお話ですと、本市では捕獲器の貸出しがないということですが、ほかの市で捕獲器を貸し出しているところがあれば、教えてください。

吉村美栄参考人 助成金制度がある市は、全て捕獲器を持っておられました。

吉永美子委員 例えば、周南市は飼い猫だけが対象ですが、そういうところではなく、飼い主のいない猫も対象にされているところは、捕獲器を貸し出されているということですね。本市でもその辺りもしてほしいという思いで請願を出されているということですね。補助金制度があるところでは、補助額は大体1万2,000円に消費税を加えた額くらいですが、補助金ですので、全部の費用の負担を求めているという意味ではないと理解してよろしいでしょうか。

吉村美栄参考人 スペイククリニックでの手術代が賄える範囲の補助金を出していただければ良いと思います。団体等ではなく、個人がこの活動を進めていくことができますので、雌は1万2,000円、雄は6,000円の補助金を用意していただけると、活動がスピーディーに進んでいくのではないかと考えております。

吉永美子委員 スマイルC a t sに対して、団体への補助というよりも、安く手術してくださる獣医のところに行ったときに、そこは飼い猫ではなく地域猫だけを受けているはずですから、そこに行ったときに掛かる費用分が補助されるものをお望みということですね。スマイルC a t sを支援するための補助として、宇部市のように団体に対する補助金というよりも、安くしてくださるところに行かれたときの費用分が補助されるという形を御希望ですか。

吉村美栄参考人 ほかの保護猫団体のように猫を保護してあげられたらいいんですが、それはなかなか難しく、命の重さをすごく感じております。私たち団体としては、山陽小野田市全体で、それぞれの地区で、それぞれの方が取り組んでいただける助成金にしていきたいと思っております。資料はお配りしていませんが、今回、補助金がない上で江汐公園の猫たちに手術を行うので、チャリティーイベントを行う予定にしております。チャリティーイベントで寄附を募って、補助金はすぐに予算

に達してしまうと思いますので、それ以降の活動もできるように自発的にも頑張っていきたいと思っております。

吉永美子委員 チャリティーイベントをされて、獣医が3人も来られて、大変なお金が掛かることをしていただいて、ありがたく思います。市にも応援してもらっているということは、山陽小野田市の後援なども取られていますか。

吉村美栄参考人 昨日、環境課から御連絡があり、後援が承認されたというお話を頂きました。

吉永美子委員 そうであれば、なおさら市は、「こういうことをやっているんだ」ということを市民に知らせていただきたい。もともと、吉村さんも猫の被害に遭っていたんですよね。そこはすごく大きなポイントだと思うんです。やはり、猫が嫌いな人もたくさんいるはずなんです。このことは、そういった人にも訴えかける力がすごくあると思っております。何かを進めていく上で、本当にありがたい視点だと思うし、後援が承認されたのであれば、どのように市が体制を敷いてくれるかをしっかりと確認してください。チャリティーであれば、自分ではなかなか全てができないけど、これぐらいはできるという市民はかなりいらっしゃると思うんです。そういったところに投げかけていくように、チャリティーを知っていただくように、市は後援されているので、応援していただくように頑張っていたきたいと思っております。後援が承認されたのであれば、しっかりとっていただきたいと思っておりますが、いかがですか。

吉村美栄参考人 この度、いろいろな方の御協力を得て、市にも応援していただけたという大きな成果を得ることができました。スマイルC a t sとしては、山陽小野田市のスマイルプランナーに登録して、市のフェイスブック等でこの情報を発信していただき、9月15日の広報にもチャリティーイベント、地域猫活動を載せていただく運びになっております。

今回の委員会が終わるまでは、私もとても緊張しており、いろいろ活動ができなかったんですが、これからいろいろなSNSを使って、また、協力的なお店もたくさんあり、サンパーク、コンビニエンスストア、地区のスーパーにお願いしたところ、快くポスターを貼っていただくことので了承を得ていますので、この問題をしっかりと進めていくに当たって、地域の方、関心を持っていなかった方にも御協力を得られるように頑張っていて活動していきたいと思っております。

吉永美子委員 先ほどは、「病院に連れて行かれたときに掛かる費用が補助されれば良い」ということでした。団体として捕獲等を行うことが大変なのは分かっていますが、例えば、スマイルC a t sにある程度の補助金を出した場合、市民から相談があったときに、捕獲して、不妊手術を行っていただく、要するに、市が直接的に行うのではなく、団体が間に入る形はいかがでしょうか。

吉村美栄参考人 まだそこまで具体的に考えてはいないんですが、もし市が補助金制度を創設した場合、猫の写真などいろいろ確認しないといけないなど大変なこともたくさんあります。それを団体に託していただければ、私達もそのように活動していきたいと思っております。

白井健一郎副委員長 この地域猫活動は、動物愛護の観点だけではなく、地域づくり、まちづくりという観点もあると思うんです。その点をどうお考えですか。

吉村美栄参考人 猫が好きな方、犬が好きな方、動物が嫌いな方それぞれいらっしゃると思います。私も被害に遭って困っているところからのスタートですが、いろいろなところでこのことに関してトラブルが起きています。江汐公園でも竜王山でも、皆様の耳にも入っていると思いますが、餌やりの方と猫を嫌いな方が口論になって、市に苦情が入ってきているということも一度や二度ではなく起きています。この問題は、環境問題

や地域住民の安心安全を守るための活動だと思ってやっっていこうと思っ  
ております。

白井健一郎副委員長 そうすると、かなり公益性が高い活動だと思うんです。  
それを自己負担で行っていることについて、どうお考えでしょうか。

吉村美栄参考人 私だけではなく、刈屋や本山岬など各地区でたくさんの方が  
個人的にボランティアしていることを知りました。今はそういう方たちが  
メンバーになってくれています。しかし、猫の繁殖力がとても強いた  
め、一方で1匹、2匹の猫を保護して、譲渡できたとしても、他方で1  
0匹、20匹の猫が産まれてしまっっては、この活動は全く進まず、被害  
やトラブルは減りません。先ほど委員が言われたように、スマイルC a  
t sが団体として頑張っていくというよりも、地域活動として、市全体  
で御協力いただいて進めていかなければ、一地区で減っても、別の地区  
で増えてしまっっては、進んでいきません。是非、御協力いただきたいと  
思います。

白井健一郎副委員長 例えば、宇部市、下関市、防府市、山口市などの近隣他  
市では、制度がある程度整備されているんですが、本市はこの点につい  
て全く無策です。この点についてどう思われますか。

吉村美栄参考人 私は、ボランティア活動で宇部市の一斉去勢の際には、山陽  
小野田市の猫をたくさん連れて行き、去勢していただきました。その中  
で、宇部市の住民は、先生からサインをもらい、補助金制度を使うため  
の写真を撮ってもらって、出費はありません。山陽小野田市には補助金  
がないので、私が連れて行った猫の分は、当然、全て費用が掛かります。  
この辺りは、「同じ税金を払っていて、ただ住んでいる場所が違うだけ  
なのに」と、とても納得がいかないというか、矛盾していると思い、環  
境課にも他部署にも何度かお願いはしてきましたが、皆様口をそろえて、  
「今、ガイドラインを作っている」、「この補助金制度はたくさんある

けれど、研究している」と言われるんです。研究って何でしょうかと。研究しなくてもこれだけモデルがたくさんあるのに、なぜ進めないんですか。いつも予算がないというお話で終わっているのが現状です。

奥良秀委員　こういう団体を作られて、他市の状況もよく知っておられると思われま。他市の状況について、年間予算が付いて、去勢手術をして、地域の猫が今どういう状況なのか。例えば、増えているのか又は減っているのかなどは、お分かりでしょうか。

吉村美栄参考人　他市の予算をお聞きしたときに現在の状況も併せてお尋ねしたんですけれど、予算を組んで、この制度ができてから、最初の二、三年は、4月にスタートしたものが7月にはもう予算が尽きるほど、速いスピードであったということでした。それだけ猫が多いということなんだろうが、それをそれぞれの市で工夫されて、前期と後期に分けて、半分ずつ予算を組む等はしていらっしゃるそうです。補助金制度が確立されて5、6年たっているところでは、予算もまだ十分残っているというお返事でしたので、詳しい数は分かりませんが、この金額が使われているということは、恐らく200匹程度の猫たちはこの助成金を使って手術されていると思います。

奥良秀委員　その補助金が使われて、二、三百匹減りますね。ただ、先ほどの猫が子供を生む数に比べて、実際、それがどうなのかと。言い方は悪いですが、「焼け石に水」じゃないのかというところがありますので、実際に不妊、去勢手術をするのであれば、一気にしないと意味がないと思います。例えば、5年や10年で終わらせてしまう気持ちでなければいけないと思っていますが、どのぐらいの数をしたら良いのかまでは、まだ検討されていないですか。取りあえず、補助が頂ければというお考えでよろしいでしょうか。

吉村美栄参考人　奥委員が言われたように、他市でも助成金は出ていますが、

猫は一向に減っていません。少しは減っていますが、外を歩いている野良猫がいなくなるまでには至っていません。理想は、地域猫活動が進んでいる都市部のように、一度に1,000万円、2,000万円という予算を使って、いろいろな方に協力していただいて、不妊、去勢手術を行えば、当然、生まれてくる子猫はいなくなりますので、早くこの活動を終わることができると思います。しかし、実際に山陽小野田市にどれほどの猫がいるのかは、見当が付いていません。

奥良秀委員 今回頂いた請願の趣旨に書いてある地区を見ても、私が知っているところは全然載っていません。多分、まだまだたくさん猫がいると思いますので、私の周りでも、最終的には住民問題になるんです。猫が好きな人、嫌いな人、餌をやる人、やらない人で問題になっていくので、できれば、こういう制度があれば良いと思っています。これは野良猫の話ですが、飼い猫の問題もあります。たしか2022年6月であったと思うんですが、法律の改正があって、マイクロチップの問題などがあります。例えば、飼い猫を部屋の中で飼えないとか、部屋の中で飼っていても、外に出て妊娠してしまうケースもあるんですが、そちらに対しての働きかけは、どのようにお考えでしょうか。

吉村美栄参考人 環境省が出しているものですが、「家庭動物の飼養及び保管に対する基準」があります。この中の5番目に、「猫の所有者は、不慮の事故や疾病の感染防止のため、また、周辺環境の安全の観点から、室内飼養に努めること」と記されております。そして、マイクロチップの装着も義務化されています。皆様のお手元にあるかは分かりませんが、山陽小野田市のガイドラインにも、飼い猫は室内飼育すること、そして、外に出てしまうこともありますので、飼い猫であっても、不妊、去勢手術を受けるようにしなさいという旨が書かれています。この点も広報やガイドラインにしっかりと載せていただき、飼い猫は外に出さない、出ても、よそで妊娠させないように、雄であっても必ず不妊、去勢手術等を行ってもらうようお願いしたいと思っております。

奥良秀委員 仮に補助金制度ができた場合、最初は病院のほうにというお話で、組織ができれば、団体というお話だったと思うんですが、団体でそういう補助金をもらうと、会計の問題や実際にそれが山陽小野田市なのか、他市なのか分からなくなってくると思いますので、組織がきちんと出来上がるのか、それよりは、各地域の方々が一生懸命やっただけのものが吸い上がって一つの団体になればいいと思っています。だから、相当大変でしょうが、地域ごとの団体をどんどん代表が作っていかなくちゃいけません、その辺はどのように感じておられますか。

吉村美栄参考人 地区の方に現在働きかけを行っているものは、スマイルC a t s のメンバーがそれぞれ違う地区のメンバーであり、まず、自治会長にお話しさせていただきたいと申し出ております。現在、私たちはチラシを作っています。地域猫活動のこと、これからどういうふうにしていきたいかということ、猫を嫌いな方にとっても、猫を好きな方にとっても、この不妊、去勢手術は、とても重要であるということを記したチラシです。これを自治会長にお渡しして、回覧板で回していただくようにしております。その中で、その地区の猫の手術をする寄附、また、ボランティアに御協力いただける方のお名前を書いていただくようなものを作って、現在、10月1日号の広報に入れていただく準備をしております。

奥良秀委員 ありがとうございます。（「いいですか」と呼ぶ者あり）

松尾数則委員長 今は請願者から話を聞いています。どうしても話したいですか。先ほど質問したときにきちんと話してください。今は駄目です。

山田伸幸委員 請願の趣旨の中で竜王山のことが挙げられておりますが、最近、竜王山から猫がいなくなったということは御存じですか。いろいろ原因は考えられているんですが、団体で何か調査や行動を起こされましたか。

吉村美栄参考人 竜王山の猫の問題は、5年から8年ほど前からでしたか、夕方になると猫がたくさん集まってきてしまい、市民だけではなく、他市から来られた方からもすごく問題視されていました。このボランティアをする前は、猫を見るのがつらいので江汐公園や竜王山には行かないことにしていたんですけど、やはり、それではいけないということで、宇部市のボランティアの方が数名、餌やりさんとトラブルを起こしながらですが、不妊、去勢手術をしたと聞いています。しかし、それだけであれだけの数の猫がいなくなるはずがありませんので、管理されている晃栄や嶋田工業に、この猫たちはどういうふうに手術を行い、どこに行っているのかをお聞きしていますが、まだ回答は来ていない状態です。ただ、竜王山からの子猫を譲渡したという方が何人もいらっしゃいますので、個人なのか団体なのかは分かりませんが、この地区の子猫をかわいそうに思って、保護されて、里親募集等をして助けている方がいらっしゃるの存じています。

松尾数則委員長 質疑はこれで終了したいと思います、いかがでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）参考人の皆様に一言お礼を申し上げます。本日はお忙しい中、本委員会に御出席いただき、貴重な御説明、御意見を述べていただきましたことに、心から感謝を申し上げます。（「委員長」と呼ぶ者あり）まだ意見が言いたいのですか。

山田伸幸委員 宮本紹介議員が発言を求めていますので、発言を許可するべきと考えます。（発言する者あり）

松尾数則委員長 5分休憩します。

---

午前9時50分 休憩

---

---

午前 9 時 5 5 分 再開

---

松尾数則委員長 休憩を解きまして、審査を続行いたします。先ほど宮本議員から要望等を述べたいということがありましたので、一度は制止しましたが、この件は聞いておきたいと思い、宮本議員の発言を許可いたします。

宮本政志紹介議員 先ほど奥委員がおっしゃったことが非常に重要でした。費用対効果に触れられたと思うんです。本来、猫の問題は、行政が中心となっていくべきことなんだと。だから、この請願書中の「【趣旨】」の3行目で、「助けてほしいとたくさんの声が寄せられています」とあります。これは、市民、国民、いろいろな方々から「助けてくださいという意見があるんです。」また、請願書の下から2行目、「市民の快適な生活環境の向上に寄与するために、」、このために吉村さんを中心に、市民の方が一生懸命に取り組んでおられるんです。ですから、本来は行政がしなければいけないところを、なかなか本気で取り組んでいない。しかし、市民が一生懸命にやっておられる。そういったところで、あまり費用対効果に議論が行くのはいかがでしょうか。これは、行政に対してどんどん進めていただきたいと思いますので、是非、その辺りも念頭に置いていただいて、審査していただけたらと思います。これは要望です。

松尾数則委員長 本委員会に御出席いただいた方から貴重な御意見を頂きました。心から感謝いたしております。今後の委員会審査に十分生かしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上で委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

---

午前 1 0 時 5 分 散会

---

令和 4 年（2022 年）9 月 8 日

民生福祉常任委員長 松 尾 数 則